

平成28年度

沖縄県立芸術大学 大学院 修士課程 造形芸術研究科 生活造形専攻 デザイン専修

入学試験問題

(視覚伝達デザイン関連出題)

問題1. 用意された新聞の写真の中から任意に3枚を選択し、その写真の状況について読み取り、あるいは考察し、図と文章で説明しなさい。答えは別紙の解答用紙に、できる限り詳細に叙述すること。(配点:50点)

平成28年度
沖縄県立芸術大学 大学院 修士課程 造形芸術研究科 生活造形専攻 デザイン専修
入学試験問題
(視覚伝達デザイン関連出題)

問題2

- ① 「沖縄・北京」をテーマに展覧会を企画デザインしなさい。

制作内容に以下の3制作を含むこと。

- ・ロゴタイプ(10cm×10cm以内)
- ・メッセージ(400字程度)
- ・ディスプレイ(見取り図)

制作条件：用意された絵の具(4色)のみを使用すること。

配布物：画用紙2枚、画材用具一式、スケッチ用紙、原稿用紙(400字)2枚

配点25点

- ② 「平和ポスター」を制作しなさい。

制作内容に以下の3要素を含むこと。

- ・グラフィック
- ・メッセージ
- ・トレードマーク

配布物：画用紙1枚、画材用具一式、スケッチ用紙

配点25点

※ 問題、与えられた用具一式、及び解答(制作物)は受験番号を記入して全て提出すること。

平成28年度

沖縄県立芸術大学 大学院 修士課程 造形芸術研究科 生活造形専攻 デザイン専修

入学試験問題

(映像デザイン関連出題)

問題1. 用意された新聞の写真の中から任意に3枚を選択し、その写真の状況について読み取り、あるいは考察し、図と文章で説明しなさい。答えは別紙の解答用紙に、できる限り詳細に叙述すること。(配点:50点)

平成28年度

沖縄県立芸術大学 大学院 修士課程 造形芸術研究科 生活造形専攻 デザイン専修

入学試験問題

(映像デザイン関連出題)

問題2. 日本映像学会(通称JASIAS)をモチーフにして、そのキャンペーン活動のためのテレビコマーシャル(30秒間)を考えなさい。また、以下の事項(1～4)は必ず記入すること。(配点:50点)

(1)企画名:

(2)コマーシャルの粗筋:

(3)制作のポイント/訴えたいこと:

(4)絵コンテ(別紙);色鉛筆で着彩すること。また、できるだけ分かりやすいように描くこと。

※注意:絵コンテを描く際に用いたキャラクターなどを用意された白紙に図と文などで説明しなさい。用意してきた色鉛筆やサインペンで着彩すること。これも採点の基準となるので、丁寧に描くこと。

※日本映像学会 HP「設立の趣旨」より

今日、私たちの生活に占める映画・テレビ・写真の役割は、ますます大きなものになりつつあります。それらは単に、情報伝達の媒体であるばかりでなく、私たちの意識に深く根をおろし、文化の本質まで形づくろうとしています。私たちはこの事実を認識し、写真・映画・テレビを、一つの映像という共通の視点からとり上げたいと思います。

なぜなら、映画・テレビ・写真による現代の文化的特質は、各媒体の内側においてではなく、媒体と媒体の間につくりだされるものです。また映像は、写真・映画・テレビという既存媒体の外に、いちじるしく拡がりつつあります。私たちは、今まで固執されて来た写真・映画・テレビ等、媒体を中心とするジャンルの思考にとらわれることなく、あるいは学問的・創造的・技術的アプローチの違いにこだわることなく、映像と人間、映像と社会の問題を広い視野で考えなければなりません。

言語は、人間を人間たらしめる人間活動の基本に外なりません。しかし、言語は、人間の想像力を通してこそ文化の創造手段となり得るのであり、想像力こそ、文化の創造主体一人間の根源的なエネルギーと申せましょう。

ここに「日本映像学会」(JASIAS)を創立する趣旨は、既存の媒体を対象とする学問的研究を超え、映像という共通の問題意識を大切に、人間と社会の未来について、自由な討論と闊達な研究の場をつくり出すことです。閉ざされた研究、限定された交流ではなく、あくまで開かれた視点に立つ総合的思考—これこそ今日の文化的要請に応え、本質への問題提起を行う姿勢ではないでしょうか。